

インターハイで全国三位という素晴らしい成績を残してきてくれた埼玉県、北部支部代表の正智深谷高校。
その正智深谷高校を率いる成田靖コーチにお話を伺ってきました。

成田先生が正智深谷の（当時は埼工大深谷でしたね）顧問になって何年目ですか？
14年目です。

正智はインターハイは何回目の出場でしたっけ？
5回目です。

最初は大阪でしたよね？あと埼玉総体と…
奈良（大阪で開催）と秋田と今回ですね。

インターハイの出場も回数を重ねてきて、ゲームへの入り方とか何か経験から得てきたものってあるんでしょうか？コーチとして感じているところがあったら聞かせて下さい。
埼玉県の予選はお互い一年間戦いあった中でのゲームになるので「いかに相手の力を出させないようにできるか？」という試合になる気がします。その点、本番では力と力の勝負になって、そこで力を出せる者が勝つのではないかと思うようになりました。

これまでの最高成績は？
ベスト16。奈良インターハイの時です。

今年、これだけの好成績を上げることができました。これまでとの違いは何だったんでしょうか。
タフさ。徹底すること、です。巧さで勝負しようとしてきた部分がありましたが、今年は巧さではなく強さの徹底をしました。

インターハイで戦っていく中で、戦術としてこれが上手くいったとか効いたとか、何かありますか？
内緒かな？
チームディフェンスが上手くいきました。正智深谷はアタックディフェンスをします。ボールに対して二人のディフェンスがつく、という形でやります。それが機能したと思います。

準決勝の延岡学園戦や福岡大濠戦などビッグネームとゲームをしています。緊張しましたか？
選手も私も、楽しんでやれたような気がします。

埼玉のインハイ予選、決勝リーグはどんな感じだったんでしょう？
実は関東大会でガードプレイヤーが怪我をしまいました。他の選手がインハイの予選までの2週間でアジャストしてくれた。よく、アジャストして、勝ってくれたという気持ち強いです

埼玉県の予選でやる時と本番のインハイと何か変えて戦ったんですか？
ディフェンス力は、これ以上の上達はないと考え、これまでの大会で取る点が少なかったプレイヤーにボールを持たせる時間を長くしよう、と。そこで取れる点を増やそうと。
あとは、ファーストブレイクに関しては、7月にあった県専門部主催の慶應大学の佐々木先生のクリニックからヒントを頂きました。

体調管理には気を遣いますか？インハイは暑いし大変でしょ。
四月に7泊8日の合宿をするようにしています。それに比べればインハイはホテルは良いし、楽なのは。

インターハイはベンチ入りが県予選と違って12人になりますが…
最後まで競わせて、最後の最後までメンバーは発表しなかった。結果的に今年は3年生が多く残った。やはり、3年生がまとまった時は凄く力を発揮してくれます。

どの試合がベスト、或いはキーだったと感じていますか？
尽誠学園戦です。

昨年度のウィンターカップ準優勝校であり第三シードの尽誠学園に勝って勢いがついた感じですか。相手は緒戦だったし。
実は去年、尽誠学園とはインハイで当たっているんです。去年のチームでもその尽誠学園と接戦…11点差ぐらいだったと思いますが、それが大きい。相手は去年の主力が抜けていて、こちらは少なくとも去年よりメンタルの部分では負けられない…という感じでした。

今年の正智深谷はこれまでと比べて抜群に大きいセンターがいるとかじゃないみたいですけど？
高さよりも、機動力が有利になるのであれば、あえて、高さにこだわらなくても高さを捨てた勝負を。平面で勝負しよう、と選手が教えてくれました。

ベンチに入れない選手達の宿の手配とかいろいろ大変でしょ？
学校を初め沢山の方がいろいろ配慮をしてくれるので助かっています。手配は自分でやりました。
人に任せることができない堅物人間なので…

石川県入りは今回も自分で運転してバス？泊まるどころとか体育館とか十分にあるのかな？
今回は業者のバスを頼みました。石川県は良いところですよ(笑)

これからの展望をきかせてください。
今年のことはともかく、計算して勝ち上がって勝負し、上位に入りたい。

女子の山村も好成績だった。埼玉県勢のハードルが一気に上がったような気がするな。
何回か続けば、ですね。

全国制覇が視野に入ってきた？
やれるんだな、と気持ちを持ちました。埼玉は優秀だと思います。色々な意味で。

準決勝、延岡のバンバに42点取られています。
無策でした。留学生の大きなプレーヤーには慣れるのが大事だが、それを今年はしていなかった。

留学生、欲しくなったでしょ？
いえ。埼玉県人で戦います。来て頂けるのであれば県外の選手でも歓迎しますが。

では最後に。
今年はストレスのない練習をしてきました。自分が百のことを言って、そのうちの99が間違っていたとしても選手がついてきてくれた。私はいつも「強さは巧さを超越する」と選手に言っています。成せば成る、を証明できたのではないかと。
正智深谷の選手は県内ではもちろん雑草などではなくエリートです。しかし、全国に出ればそうではありません。月バスでも一回戦チームと評されて、それを打ち破れたのはディフェンスの頑張りだったと。あとチーム全体、ベンチ・ベンチ外を含めて応援が素晴らしくそれも大きな力となった。
多くの方々に支えてもらって自分たちがこうしてバスケットをしていられるということに感謝の気持ちを、これまでも増して強く持ちました。

お忙しいところありがとうございました。

(8月12日 国体チーム練習前 狭山工業高校にて)

※後記 埼玉県の少年男子チームは関東ブロック大会において東京都、群馬県を破って決勝に進出し、千葉県には惜しくも82-84で敗れましたが準優勝となり、本大会に出場を決めました。

